教育家庭新聞

2025年（令和7年）
9月15日
月曜日
第2275号

長月・玄月・菊月
敬老の日（9/15）
秋分の日（9/23）
十五夜（10/6）

第3月曜日発行

教育マルチメディア

教育家庭新聞社
発行所＝〒111-0053東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL：03（3864）8241㈹
FAX：03（3864）8245
郵便振替口座　1309−53693
購読申込み　☎03（3864）8241 Eメール kks@kknews.co.jp
ホームページ　https://www.kknews.co.jp/
創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社　1部 520円

紙面案内

柔軟な教育課程で多様な子供たちを包摂

次期学習指導要領の方向性がまとまりつつある。デジタル学習基盤を前提に情報活用能力の育成を強化し、探究的な学びと連携していく方向だ。柔軟な教育課程により余白を創出し、すべての教員がカリキュラムマネジメントを重視して学びをデザインする方向で議論が進んでいる

2-3面　学校業務改善
4-5面　生成AIの進化が学びに影響
5　面　教育委員会対象セミナー・松山
6-7面　食育・学校給食
8-9面　秋の学校図書館特集
10　面　教育旅行
11　面　教育ニュース
12　面　教育DXロードマップ

連　載
KOSENから未来を創造　4面
おいしい献立写真　7面
防災教育への視点　10面

■X（旧Twitter）
@kyoikukatei
■紙面問合せ
✉kks@kknews.co.jp
■購読申込みはこちら→

「教育家庭新聞　教育マルチメディア」購読申し込み書

「教育家庭新聞　教育マルチメディア」は毎月第3週に発行します。メール便でお届けします。電話・FAX、またはHPからもお申し込みいただけます。
購読者には、新聞紙に加えて、読者専用Webページにアクセスできるid とパスワードをお届けします。
1.電話 03・3864・8241（弊社販売部）　2.FAX 03・3864・8245
3.ホームページアドレス https://www.kknews.co.jp/　（1部 520円）

お申し込み書（年間12回6,240円）

お名前		
ご職業		
ご住所	〔自宅・通勤先〕（どちらかに○を）　（〒　－　）	
連絡先	電話　（　）	お支払方法
	FAX　（　）	ご連絡を頂き次第、郵便振替及び銀行振込の用紙をお送りします。どちらかでお支払いください。

多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

情報活用能力は「探究」と連携して育む

次の学習指導要領の考え方素案

文部科学省初等中等教育分科会・教育課程部会教育課程企画特別部会は9月5日、次の学習指導要領の考え方について、これまでの議論を取りまとめた論点整理（素案）を報告・検討した。本素案は教育課程部会に報告後、既に設置されている総則・評価特別部会や各WGにおいて各章の内容等について検討を進める予定である。2026年度中に中央教育審議会として「答申」を取りまとめる。

本素案は次の8章で構成されている。▼次期学習指導要領に向けた基本的な考え方　▼質の高い、深い学びを実現し、分かりやすく使いやすい学習指導要領の在り方　▼多様な子供たちを包摂する柔軟な教育課程の在り方　▼情報活用能力の抜本的な向上と質の高い探究的な学びの実現　▼「余白」の創出を通じた教育の質の向上の在り方　▼豊かな学びに繋がる学習評価の在り方　▼その他　▼今後の検討スケジュールや検討の在り方等

■3つの方向性で議論

次の学習指導要領改訂では次の3つの方向性を踏まえて改善の議論を進める。▼「主体的・対話的で深い学び」の実装（Excellence）＝深い学び　▼多様性の包摂（Equity）＝多様な子供たち　▼実現可能性の確保（Feasibility）＝確かなもの

この3つの方向性を端的に示す表現が「多様な子供たちの『深い学び』を確かなものに」であり「あらゆる方策を活用して三位一体で具現化」するとしている。

これまでも重視されてきた「主体的・対話的で深い学び」については『好き』を育み、『得意』を伸ばす」ことと「当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができる」ことを通して「自らの人生を舵取りする力と民主的で持続可能な社会の創り手」を育むことを目的として検討。例えば児童生徒主体のルール形成や学校生活改善、行事の創造等の明確化や納得解の形成の重要性の明文化が示されている。前回改定で分かりにくいと指摘を受けた表現については教員にイメージしやすいように再整理。「深い学び」を実現する授業イメージをもてるように表で表したり、学習指導要領のデジタル化を進める。「学びに向かう力、人間性等」についても実践をイメージしやすいように構造的に再整理する。

■柔軟な教育課程

【小・中学校】「調整授業時数制度」の創設を検討。児童生徒や地域の実態を踏まえて必要に応じて調整授業時数を別の教科等に上乗せ可能とすること、裁量的な時間に調整授業時数を充てること、裁量的な時間の一部で教育課程に余白を生み出すことを進める。調整授業時数を特に必要な教科の開設に充てることができるようにする。

【高等学校】単位制を大幅に柔軟化。現行の標準単位数を細分化（74単位を分割し最大148単位とする案）し、学期ごとの単位認定を容易にし、きめ細かく増単・減単できる方向で検討。

■情報活用能力を育成

小学校の総合的な学習の時間に「情報の領域（仮称）」を付加。中学校は情報技術に関連する内容を強化した「情報・技術科（仮称）」を新設。それらを踏まえた高等学校情報科の充実を図る。いずれも年間の標準総授業時数を現在以上に増加させない方針を前提とする。

【小学校段階】小学校の総合的な学習の時間に情報の領域（仮称）を付加。一定の時間を確保して発達段階を踏まえつつ、総合的な学習の時間における探究的な学習との具体的連携の在り方を検討。生成AI等の技術革新がもたらす影響やリスクにも配慮する。

【中学校段階】技術分野の領域「情報の技術」を大幅に充実。現在の「技術・家庭科」については「家庭科」と「情報・技術科（仮称）」の2教科に分離することを検討。

【高等学校】情報科をさらに充実。文理を問わず生成AI時代に不可欠な基礎的な素養として「特性の理解」を身につけられるようにする。

【条件整備ほか】中学技術・高校情報の教員養成課程の新設を促進。大規模な認定講習を実施する。技術科教員の柔軟な配置や外部人材の活用をしやすくなるよう、特定期間に集中して授業を実施可能とする等を検討。新たな技術が出てきた場合には学習指導要領解説の一部改訂をタイムリーに行うこと、必要に応じて国が指導の手引きやデジタル教材等を提供することも検討する。

■質の高い探究的な学びの実現

質の高い探究に不可欠な情報活用能力の諸要素を教育内容として明記。一体的に向上させる方向で検討。

【小学校】総合において情報活用能力を育む領域を付加することを検討。

【小・中・高】約30年にわたる「総合」の実践の蓄積等を踏まえ、学校種ごとの総合の「目標」及び小・中学校での総合の名称等について検討。

【条件整備】探究的な学びに必要な時間の確保に資するためにも、デジタル学習基盤の活用や、学習指導要領の構造化や教科書の分量の精選、調整授業時数制度等により余白を生み出すことを進める。個々の児童生徒の思いや願い・好奇心に基づく探究の質の向上及び学校のカリキュラム設計の負担軽減を図る。

【資質・能力】学習の基盤となる資質・能力として「情報技術の活用」に絞って示し、各教科等のみならず、探究的な学びを支え、駆動させる基盤として位置付け。総則・評価特別部会等において詳細に整理される予定。

■余白の創出を通じた教育の質の向上

余白の創出に向けて授業時数の見直しや週あたりコマ数など改訂を待たずに行うべきことを整理して示す。時間マネジメントに資する好事例も提供する。

学習指導要領の構造化・表形式化・デジタル化を進めて参照しやすくする。

教科書の内容は教科等の中核的な概念等を掴みやすいものに精選。教科書で得た理解を広げ、深めるための多様な情報を得る手段としてその他の教材を活用するという役割分担も検討。教科書の分量、デジタル教材との役割分担、教師用指導書での指導計画の示し方も整合性をもって検討される。

■カリキュラムマネジメント

教員にとって意義を感じられる日常の取組とするため、カリキュラムマネジメントの考え方を整理。教育課程の円滑な実施に向けた支援体制も併せて検討される。

■高等学校入学者選抜

都道府県教委等における県全体と中高担当部署の連携を図り、出題方針の公表、作問解説、各学校の分析結果の共有等を促進。

採点等でのデジタル技術の活用など負担軽減に係る取組を促進する。

生徒や地域の実情によって学力検査を行わない選抜や、調査書を用いない選抜の取扱い等について整理・明示する方向で検討されている。

「フューチャークラスルーム」で実証開始

福岡教育大と内田洋行が包括連携協定

福岡教育大学（飯田慎司学長）は、ICTを活用した未来志向の教育環境の構築を目的に、内田洋行（大久保昇代表取締役社長）と包括連携協定を締結。9月3日、福岡教育大学附属福岡小・中学校で締結式が行われた。本協定により福岡教育大学附属学校の福岡・小倉・久留米の3拠点にある「フューチャークラスルーム（FCR）」において「ラーニング・イノベーションの促進を目指した未来型ICT環境設備の活用に関する試行的実践プロジェクト」を実施。授業実践の創出と教育効果の検証を図る。大学・附属学校・企業・教育委員会とも連携する。

L字型大スクリーンとプロジェクター8台を設置したフューチャークラスルーム

FCRには、L字型大スクリーン（2㍍×16㍍）と8台のプロジェクターを設置。児童生徒は1人1台端末を用いて、ワイヤレスで画面を投影できる。天井のカメラと集音マイクにより臨場感のある双方向授業や遠隔授業も可能。机や椅子は可動式。壁面はホワイトボードとしても活用できる。教室機器はアプリ「codemari」で一括操作でき、デジタル顕微鏡による教材提示や動物の画像の実寸大表示など多様な授業展開が可能。飯田慎司学長・福岡教育大学は「Society5.0の到来により、教育現場にも先端技術の導入が求められている。内田洋行と手を携えて新たな学習内容、指導技術の開発に取り組んでいきたい。本協定が本学の発展をけん引するエンジンとなることを期待する」と述べた。教科や総合的な学習の時間にゲストティーチャーをオンラインで招いて授業を行っている附属福岡中学校の深川成浩校長は「FCRを活用することで、より臨場感のあるやりとりが可能となり、学習効果の向上につながる」と期待を寄せた。

2026年度文部科学省概算要求

2026年度文部科学省概算要求が公表された。次の学習指導要領の開始を待たずに、その内容を実現できるように学校DXを加速。次世代校務DX環境についても初期費用が計上されている。情報活用能力向上に向けた施策も推進。「質の高い公教育の再生」「新しい時代の学びの実現に向けた学校施設の整備等」「高等教育機関の多様なミッションの実現」などにおいて6兆599億円が計上され、昨年度より5506億円余りが増額されている。

次世代校務DX環境に初期費用

学校ネットワークアセスメント費用とその結果に伴うネットワーク整備強化の予算を引き続き計上するとともに次世代校務DX環境整備に伴う初期費用が計上された。

○校務DX等加速化事業（3億円・新規）

「今の環境でできる校務DX」と「環境整備を伴う校務DX」を推進。「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」および「教育データの利活用に係る留意事項」を改訂。

○GIGAスクール構想支援体制整備事業（37億円・拡充）

▼次世代校務DX環境の全国的な整備＝都道府県域での共同調達・共同利用及び帳票統一を前提に、自治体の次世代校務DX環境整備に係る初期費用（校務系・学習系のネットワークの統合に係る費用や、校務支援システムのクラウド化に係る費用等）を支援。680万円／校。補助率1／3

▼次世代校務DX環境整備を行う際に必要となる帳票統一・ネットワーク環境等に関する都道府県域内の実態調査、ロードマップの策定、RFP作成等の各種プロセスを支援。5千万円／都道府県。補助率1／3　▼ネットワークアセスメントの結果を踏まえた学校ネットワークの課題解決に係る初期費用（機器の入替えや設定変更等）を支援。240万円／校。補助率1／3　▼教育情報セキュリティポリシーの策定・改定支援、セキュリティリスクアセスメントや端末利活用等の専門家による支援、ネットワークの共同調達の支援等、学校DXに向けた技術的なコンサルタントに要する経費を支援。20万円／校（18校未満の場合は360万円として算定）

○情報活用能力の抜本的向上（8億円・新規）

▼情報活用能力の育成のための実践研究（4億円）＝これまでの「リーディングDXスクール事業」を発展。情報教育に係る学習者用教材を開発、実践事例を創出　▼指導充実のための総合的な支援（3億円）＝授業ですぐに使える動画教材や教員向けの研修コンテンツを作成。学校DX戦略アドバイザーを派遣　▼免許法認定講習（中学校技術科）の強化（0・5億円）＝全国の認定講習受講希望者がオンラインで負担なく受講できる認定講習プログラムを開発・運用、中学校技術科の免許取得を促進。認定講習プログラムの全国展開を支える連携大学への支援　▼中学校技術科等における民間人材の活用支援（0・2億円）＝情報領域を専門とするような民間企業等の外部人材が、中学校技術科・高校情報科の指導者等として参画する仕組みを検討。手引きを作成

○生成AIを含む先端技術の利活用推進（8億円・拡充）

これまでの「リーディングDXスクール事業」を発展。生成AIパイロット校は「教育利用」「校務利用」を指定。教育課題の解決に向けた生成AIの実証研究、生成AIの利活用や校務での活用に関する調査研究を実施。事例の発信と手引きの作成を行う。

○次世代の学校・教育現場を見据えた先端技術の利活用（1億円）

「活用可能性を有する先端技術に関する調査研究」「教育課題特定型実証研究」「先端技術提案型実証研究」をそれぞれ実施。AR・VR・XR、メタバース等を利用した教育課題解決に関する実証を行う。各研究は1～3件を予定。

○小中学校等におけるデジタル教科書の配布・活用促進（20億円・拡充）

すべての国・公・私立の小学校5・6年生、中学校全学年に英語のデジタル教科書を提供。一部の小・中学校に対しては算数・数学のデジタル教科書を提供。高等学校での授業実践等のモデル創出のため実証研究も実施。研修モデルも創出する。

【2面に続く】

GIGA第2期の個別最適な学び

⑨子供たちが探究サイクルを回すために　～築上町のSTEAM教育の取組～

中村学園大学 教育学部 山本朋弘 教授

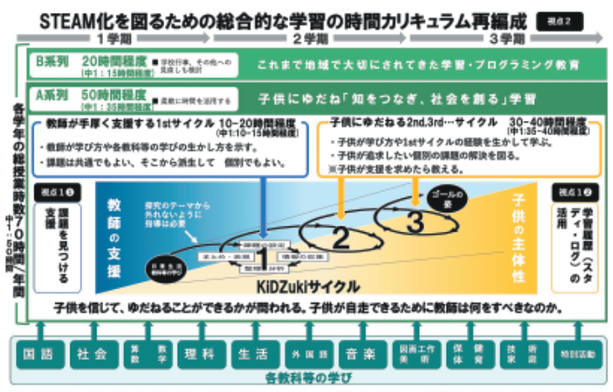
福岡県築上町教育委員会（久保ひろみ教育長）は、自律した学習者の育成を目指し、「KiDZukiサイクル」を継続して回す学びの過程を通して「知をつなぎ、社会を創る子供」を目指すSTEAM教育の在り方を研究している。「誰が探究サイクルを回すのか」という視点から、年間カリキュラムを見直している。

まず、A系列では、子供に学びを委ね、「知をつなぎ、社会を創る」学習を50時間、B系列では、これまで学校や地域で重視されてきた学習を20時間程度設定している。

KiDZukiサイクルは、課題設定、情報収集、整理・分析、まとめ・表現の学習サイクルを段階的に進めていく。第1サイクルでは教員が手厚く支援し、第2、第3サイクルでは子供に委ねて、主体的な学びへと移行している。

子供たちは、試行錯誤を重ねながら問題を発見し、自らの課題を設定するようになっていく。情報活用においては、情報端末や生成AIを積極的に活用して探究的な学びに活かしている。生成AIは、児童生徒が必要に応じて選択し、活用する1つのツールとして機能している。

今後、小中学校での探究的な学びを見直す方向が考えられる。「学習の個性化」から、総合的な学習の時間を見直す時期にある。



築上町のSTEAM教育の全体構想図

47都道府県
ご当地文化百科
★第27回学校図書館出版賞特別賞受賞！
地域の個性が再発見できる
ご当地本　好評発売中！
全47巻

歴史・食・営み・風景の分野別に、名産品や食文化、伝統行事や各地の伝承など、各都道府県ごとに地域色豊かな話題について興味深く解説。
丸善出版 編・各176～264頁 四六判・各巻定価2970円（税込）
◆学校の探求学習の資料にも最適◆
丸善出版 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 https://www.maruzen-publishing.co.jp

谷和樹先生が監修！
この本でコミュニケーション力とプレゼン力を磨いて、日々の暮らし、人生を豊かなものにしてください

【9歳から知っておきたいシリーズ最新刊】グループやクラス発表、入試面接、プレゼン資料の伝え方や、媒体別でのコミュニケーションの違いなどを具体例を交え、実践に即したコミュニケーション・プレゼン力を高める方法をお教えします。
コミュニケーションチェックシートもついてくる！
9歳から知っておきたい
コミュニケーション・プレゼンカをアップさせる方法
編著：TOSSコミュニケーション・プレゼン力研究会
監修：谷和樹（TOSS代表／玉川大学教職大学院教授）
ISBN：9784867167731　価格：1,650円（税込）
お近くの書店か、インターネット通販サイト、電子書籍などでお買い求めください。
マイクロマガジン社 〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 TEL:03-3206-1641 FAX:03-3551-1208

塩野米松の いのち わくわく おはなし絵本
やまんばの12にんのむすめ
塩野米松●文／小沢さかえ●絵

12年に一度、12月12日、山姥の12人の娘がお母さんのところに集まる。やまんばと動物たちは迎える準備に大忙し。
さあ、宴を始めるよ。
いっぽんのき
塩野米松●文／松本春野●絵

昔は里山だった都会の小さな公園に一本の木が残っていた。木の下のベンチにおばあちゃんと子ども。一匹のセミが地上に出てきて…
各冊●定価 1,650円 AB判／オールカラー 32頁／総ルビ ●幼児・小学初級～
農文協 〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田2-2-2 https://shop.ruralnet.or.jp/ ☎048-233-9351　FAX 048-299-2812

世界初！19カ国で刊行
700万年前から私たちの祖先女性は何を見てきたのか！
カラー図鑑 フェミナ・サピエンス全史
★人類の進化と女性の祖先★

●2970円
◆6/28朝日新聞「子どもの本棚」紹介！
遺伝子研究でわかった!! 氷河期も生き抜いたDNA
洞窟壁画や副葬品からわかる女性のくらし
世界の女性研究者、考古学者、探検家ほか
［監修］国立科学博物館長 篠田謙一

西村書店 東京都千代田区富士見2-4-6 ☎03-3239-7671（税込）

リトル じぶんのきもち いえるかな
推薦解説 小児科医・日本子ども虐待防止学会常務理事 木下あゆみ先生

家族がけんかしていたら家族にどなられたら…
つらい気持ちを抱えた子どもを勇気づけ、まわりに打ち明けるきっかけになるスウェーデンの絵本。
作・絵／スティーナ・ヴィルセン　訳／きただいえりこ
定価：1,870円（税込）
ISBN978-4-86412-448-5　A5横判 上製 33頁
はじめにきいてね、こちょこちょモンキー！
同意と境界、はじめの1歩
4刷出来
聞いてみよう、友だちの本当の気持ち！
文／ジュリエット・クレア・ベル
絵／アビゲイル・トンプキンズ
訳／上田勢子・堀切リエ

定価：1,650円（税込）
ISBN978-4-86412-200-9　AB変判 上製 32頁
子どもの未来社 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-7-602 TEL：03（3830）0027 https://www.comirai.jp/

言語学者も知らない
謎な日本語
研究者の父、大学生の娘に若者言葉を学ぶ
石黒圭・石黒愛【著】
◎1,980円（税込）
言語学者の父が娘たちと繰り広げる“謎な日本語の世界”
「わかりみが深い」「あの発言、メタい」
「ちょっと待った！　例文を頼む！」
めくるめく言葉の海に父と娘が飛び込む!!!
お伽噺「桃太郎」はなぜ生まれたのか
宮川禎一【著】
◎2,420円（税込）
なぜ桃から生まれたのか。
なぜ川上から流れてきたのか。
なぜ犬・猿・雉がお供したのか。
知れば知るほどおもしろい桃太郎研究の新展開。
教育評論社 TEL03-3241-3485 FAX03-3241-3486 〒103-0027 中央区日本橋三丁目9-1 https://www.kyohyo.co.jp/